



あなたと議会を結ぶ

# 議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会  
 ●編集：議会広報委員会  
 ●発行日：令和4年4月25日  
 ●〒891-9295  
 鹿児島県大島郡知名町知名307  
 TEL 0997-93-3119



## 女性連と語る会 町議会活動に女性の声を

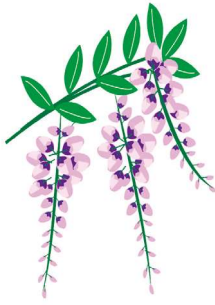
主な内容

- ◆ 第1回定例会のあらまし・令和4年度当初予算 ..... 2
- ◆ 特別会計・一般質問 ..... 3~10
- ◆ 令和4年度当初予算審査特別委員会・第1回定例会で審議された案件 ..... 11
- ◆ 議会の動き／編集後記 ..... 12



ちなぼー  
知名町マスコットキャラクター

# 令和4年第1回(3月)定例会



令和4年第1回定例会は3月8日(15日)までの日程で開かれ、今井力夫町長の令和4年度施政方針表明があり、町政全般に対する一般質問に7名の議員が登壇し、障がい者・障がい児への施策、硬度低減化、農業振興、道路政策、デジタル化に向けて等について活発な議論が交わされました。議案審議では令和3年度一般会計補正予算(第7号)14億7,918万5千円減額し総額66億4,713万6千円を含む、7特別会計補正予算を原案可決し、単独議案では15議案を原案可決しました。また、令和4年度当初予算については、一般会計総額72億3,870万、前年比2.65パーセント増他8特別会計及び水道事業を原案可決しました。

令和4年度当初予算  
一般会計・特別会計・水道事業  
会計合わせて

## 総額 99億2980万1千円

### 令和4年度 一般会計当初予算

(単位：千円)

歳 入				歳 出			
科目名称	本年度	前年度	比較	科目名称	本年度	前年度	比較
町 税	506,528	513,629	△ 7,101	議 会 費	80,419	88,293	△ 7,874
分担金及び負担金	67,107	52,524	14,583	総 務 費	2,168,081	2,142,942	25,139
使用料及び手数料	68,165	68,820	△ 655	民 生 費	1,474,007	1,574,516	△100,509
財 産 収 入	50,251	51,523	△ 1,272	衛 生 費	368,317	331,258	37,059
寄 附 金	51,031	40,061	10,970	農林水産業費	842,589	834,692	7,897
繰 入 金	549,127	384,926	164,201	商 工 費	108,496	58,607	49,889
繰 越 金	20,000	20,000	0	土 木 費	500,840	411,541	89,299
諸 収 入	69,796	44,008	25,788	消 防 費	185,796	185,167	629
◎自主財源計	1,382,005	1,175,491	206,514	教 育 費	488,319	470,224	18,095
地 方 譲 与 税	49,147	48,961	186	災害復旧費	88	97	△ 9
利子割交付金	319	545	△ 226	公 債 費	1,011,748	944,335	67,413
配当割交付金	931	663	268	予 備 費	10,000	10,000	0
株式等譲渡所得割交付金	940	423	517	諸支出金	0	0	0
法人事業税交付金	2,720	3,280	△ 560	歳出合計	7,238,700	7,051,672	187,028
地方消費税交付金	116,279	94,402	21,877				
環境性能割交付金	2,099	3,758	△ 1,659				
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	21,079	22,396	△ 1,317				
地方特例交付金	2,185	2,550	△ 365				
地 方 交 付 税	3,228,500	2,909,000	319,500				
交通安全対策特別交付金	681	676	5				
国 庫 支 出 金	689,546	466,610	222,936				
県 支 出 金	518,669	531,572	△ 12,903				
町 債	1,223,600	1,791,345	△ 567,745				
◎依存財源計	5,856,695	5,876,181	△ 19,486				
歳入合計	7,238,700	7,051,672	187,028				

令和4年度一般会計当初予算総額は72億3,870万で前年度比1億8,702万8千円増の2.65パーセントの伸びとなっております。



## 令和4年度 特別会計・水道事業会計の当初予算

(単位：千円)

区 分	本 年 度	前 年 度	比 較
国民健康保険特別会計	1,062,727	1,098,621	△ 35,894
介護保険特別会計	868,916	838,877	30,039
後期高齢者医療特別会計	85,848	86,741	△ 893
奨学資金特別会計	22,172	20,276	1,896
下水道事業特別会計	218,786	166,636	52,150
農業集落排水事業特別会計	203,343	191,592	11,751
合併処理浄化槽事業特別会計	29,199	26,667	2,532
土地改良事業換地清算特別会計	16,306	45,498	△ 29,192
水道事業会計	183,804	186,657	△ 2,853
合 計	2,691,101	2,661,565	29,536



## 二次元バーコードの紹介

添付の二次元バーコードをスマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、  
 知名町議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

### ● 今井 吉男議員

1. えらぶ特産品加工工場について
2. 観光振興について
3. 町広報紙等の制作について

### ● 西 文男議員

1. 本町障がい者・障がい児への施策について
2. 介護施設の従事者不足について
3. ふるさと納税について
4. 教育行政について

### ● 外山 利章議員

1. 農業による環境と経済成長の好循環を
2. 農業後継者育成と就農支援について

### ● 窪田 仁議員

1. 農業振興について
2. 町長の公約について
3. 硬度低減化について
4. 商工業の振興について

### ● 新山 直樹議員

1. 避難所運営について
2. 教育行政について
3. 野営場整備について

### ● 川畑 光男議員

1. デジタル化に向けて
2. 道路の整備、改良、補修について
3. 商店街の活性化に向けた取り組み

### ● 宗村 勝議員

1. 脱炭素社会実現に向けた取り組みについて
2. 田皆岬の景観について
3. 猫の適正飼養について
4. AED(自動体外式除細動器)の適正な管理について

## 一般質問

### 7名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策議論の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって一般質問が行われました。  
 4ページからの掲載の内容は、各質問者が執筆した主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。  
 (質問順に掲載)

今井吉男  
議員



# シマ桑生産者の確保は

## 町長／新規生産者の確保は困難

動画配信は  
こちら↓



えらぶ特産品加工場

**問** えらぶ特産品加工場（総事業費1億1,600万円）は、平成25年3月完成、当初生産者11名でスタート、現在は4名まで減少、今後も高齢化等で生産者の減少が危惧される。新規生産者の確保は。

**答** 町長 今後の生産者の確保は、新規の生産者確保は難しい面もあり、現在の生産者のほ場を受け継ぐ後継者を探していくか、後継者が見つからない場合は町独自でほ場を確保する等の検討をします。

**問** 今後、シマ桑生産者が減少することを見据え、機械・設備の有効活用観点から、ゴイヤやバレイシヨ等の品目の加工・販売を検討すべきで



サイクリングロード

**答** 町長 新規品目の加工については、販路の開拓が重要であり、新規品目の加工の可能性を検討します。

**問** 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えて、国立公園の指定を受けた田皆岬・沖泊海浜公園や屋子母海岸一帯の自然の風景地を保護すると同時に観光資源として活用すべきでは。

**答** 町長 本町における海岸線は、大部分は「奄美群島国立公園区域」として保護されており、また、「自然公園法」により、各種開発行為が規制されている。今後も豊かな観光資源として保護していく。

**問** 田皆岬から屋子母海岸沿いに設置されているサイクリングロードを県が推進するサイ

**問** 広報「ちな」の制作は、4年程前からデザイン料として、1ページにつき1万円、年間150万円を委託しているが、「議会だより」のデザインは議会事務局職員が独自で制作、「広報ちな」と比較しても遜色はありますか。今後は、職員が持てる能力と個性を駆使した「広報ち

な」の制作はできないか。

**答** 町長 沖永良部島においても、本年度中にサイクリングコースが完成予定。

**問** 広報「ちな」の制作は、4年程前からデザイン料として、1ページにつき1万円、年間150万円を委託しているが、「議会だより」のデザインは議会事務局職員が独自で制作、「広報ちな」と比較しても遜色はありますか。今後は、職員が持てる能力と個性を駆使した「広報ち



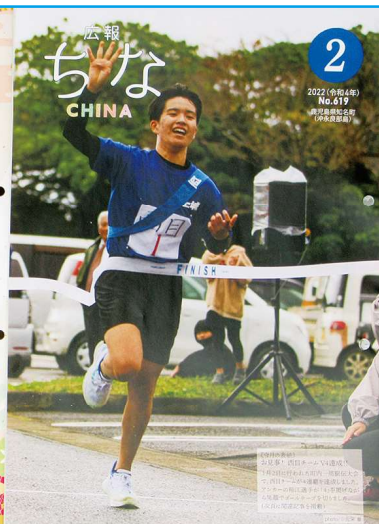
大津勤ビーチロック

**問** 広報紙以外でも簡単に外部委託するのはなく、優秀な職員の能力と個性を引き出す方策は取れないか。

**答** 町長 職員の負担軽減や職員の能力や業務量、委託内容等も踏まえて外部委託を行っている。

**問** 広報紙以外でも簡単に外部委託するのはなく、優秀な職員の能力と個性を引き出す方策は取れないか。

**答** 町長 今後も「広報ちな」の制作は、委託先と連携して島内外の方々に愛読される広報紙づくりに努める。



動画配信はこちら



# 本町の障がい者・障がい児への施策について



西 文男 議員

## 町長／社会福祉協議会と相談し対応

**問** 町は障がい者・障がい児への福祉サービスは現在どのように行っているか。

**答** 町長 新規に手帳を交付する方に、各種サービスが記載されたパンフレットを窓口で手渡しています。また、ヘルパーなどのサービスを希望される方へは、社会福祉協議会と相談し対応しています。

**問** 本町の障がい者、障がい児数はどれ位か、また障がい者の方々の生きがいや、就労等に関する町としての施策はどのように行っているか。

**答** 町長 令和4年2月時点で身体障害者手帳保持者413人、精神障害者手帳保持者46人、療育手帳保持者58人です。施策としては、身体障害者福祉協会による大島地区ゲートボール大会への参加や、精神障がい者サロンでの通いの場を提供しています。就労に関しては、就労希望者に、あまみ障害者就業・生活支援センターを紹介し、年1回の町内での相談会の案内、適度に働きたい方には、B型支援事業所サネンを案内し、週に数日作業をしてもらっています。

**問** 介護施設の従事者不足がテレビや新聞で報道されている。本町においても同様と聞いてい

るが、町として町内介護施設の状況を把握しているか。

**答** 町長 町指定の介護事業所については、厚生労働大臣が定める人員基準を満たしていますが、主任介護支援員、介護支援専門員などは人員が不足していると把握しています。介護福祉士国家資格試験等の支援活動として、勉強会の開催・その他キャリアアップ支援のため、知名・和泊両町より、沖永良部介護福祉士会へ令和3年度から10万円ずつの補助金、また介護支援専門員協議会へも知名・和泊・与論町の3町が平成13年8月



養護老人ホーム「絆の郷」

より毎年15万円前後の補助金を出し、会員への講習会、旅費助成が行われている。

**問** 令和3年度のふるさと納税額、納税者数はどれ位か、現在の目的税別のふるさと納税基金額はどれ位か。

**答** 町長 ふるさと納税の2月末時点での納税額は5,252万7千円で、2,715件です。基金の目的別は、地域活性化事業、1,075万3千円、環境保全整備事業468万5千円、保健福祉事業446万8千円、未来を担う人材育成事業681万9千円、その他町づくり事業に259万8千円になつており、当初予算4,000万円に対する達成率は約131%です。

**問** ふるさと納税の返礼品の地元特産品及び農作物、果樹含めた寄附金額はどれ位か。全体の納税額に対する比率はどのようになっているか。



ふるさと納税返礼品セット

**答** 町長 返礼品の地元特産品等は約2,970万円で約57%です。

**問** 企業版ふるさと納税での給付型奨学金の貸与について実施はどうなっているか。

**答** 教育長 貸与型の町奨学金を利用している学生が卒業後、10年以内に本町に戻り、かつ、5年以上就労した場合に、返還した奨学金を支援金として支給し、残額は免除するものです。令和4年度新規奨学生から適用します。給付型の実施は、その原資となる財源が、今のところ確定してないため、今後、ふるさと納税の状況を見ながら、奨学生の負担軽減を図るための改正を行う予定です。

**問** 離島の子供達に、夢と希望の大切さを伝える全国離島交流中学生野球大会への参加補助はできないか。

**答** 教育長 野球を通じて交流することにより、人間形成や地域振興に寄与する事は理解できますが、参加負担金について課題があります。本町は新庁舎建設等の大型プロジェクトを抱えている中、財政的に厳しく、現状での参加の補助は難しいと考えています。

外山利章議員



# 農業による環境と経済成長の好循環を

## 町長／循環型社会実現に向け効果的な方法を検討していきたい

動画配信はこちら



### I-1. バイオマスとは

- バイオマスとは、生物資源 (bio) の量 (mass) を示す概念であり、「動植物に由来する有機物である資源 (化石資源を除く。)」であり、大気中の二酸化炭素を増加させない「カーボンニュートラル」と呼ばれる特性を有している。
- バイオマスを製品やエネルギーとして活用していくことは、農山漁村の活性化や地球温暖化の防止、循環型社会の形成といった我が国の抱える課題の解決に寄与するものであり、その活用の推進を加速化することが強く求められている。

#### バイオマスの種類

- 廃棄物系バイオマス
  - ・ 家畜排せつ物
  - ・ 下水汚泥
  - ・ 黒液\*
  - ・ 紙
  - ・ 食品廃棄物
  - ・ 製材工場等残材
  - ・ 建設発生木材

※ 木材(チップ)を作る際に化学的に分解・分離した際、発生する黒液

- 未利用系バイオマス
  - ・ 農作物非食用部
  - ・ 林地残材

- 資源作物
  - ・ 微生物類等

#### 用途

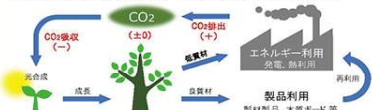
- マテリアル利用
  - ・ 素材として
  - ・ プラスチック・樹脂等
  - ・ 化成品原料として
  - ・ アミノ酸、有用化学物質等

- エネルギー利用
  - ・ 電気・熱に変換
  - ・ 直接燃焼、ガス化
  - ・ 燃料に変換
  - ・ エタノール、ディーゼル、固形燃料、ガス等

- (既存利用)
  - ・ 肥料原料
  - ・ 薪炭等

#### カーボンニュートラルとは?

生物由来のバイオマスは、燃焼等により二酸化炭素を放出しても生物の成長過程で光合成により吸収、大気中の二酸化炭素を増加させないという性質



#### バイオマス活用にあたっての課題

- 多くのバイオマスは、地域に「広く薄く」存在しているため、経済性の向上が重要
  - ・ 原料の効率的な収集・運搬システムの確立
  - ・ バイオマス製品等の販路の確保
  - ・ 幅広い用途への活用 (高付加価値化)
  - ・ 製造・利用技術の低コスト化

経済性が確保された一貫システムの構築

農業の新たな価値創出とバイオマスの活用について

**問** 環境と経済の両立に向け、さとうきびを中心としたバイオマス活用によるグリーン産業の創出と地域循環型エネルギーシステムの構築に向け取り組んではどうか。

**答** 町長「カーボンニュートラル実現にバイオマスの活用は大きな手段の一つだと認識しています。本町に合う利用方法など、先進事例など参考にしながら検討していきたい。」

**問** これからの農業生産は環境負荷の軽減と持続的発展の両面から、その方向性を決定する必要はある。国の事業を活用し、ビジョン策定、可能性調査に取り組みべきではないか。

**答** 町長「CO2削減に向けた具体的なマスタープランを策定する必要があります。所得確保と持続可能な農業の両立が図れるのか、検証を行いながら進めて参ります。」

農業後継者育成と就農支援について

**問** 後継者育成の観点から農業高校、農業大学校進学者を特別奨学生

**問** 対象にするよう質問し、その方向で行いたいと回答を得ているが進んでいるのか。

**答** 町長「基幹産業である農業をどう守っていくか。その視点で新たな特別奨学生資金制度を考えていく必要があるのではないかと思っています。また島に帰ってくれば返さないでよい奨学金制度の在り方について教育委員会でも検討を行っています。」

**問** 返済負担の軽減のためにも島に帰ってきた時点で返済をストップし、5年間の就業で返済免除としてはどうか。

**答** 町長「議員のおっしゃる通り負担軽減は必要だと考えています。まずは給与型をスタートさせながら、年次的に改善していきたいと考えています。」

**問** 「南北広域連携関係人口創出事業」は労働力不足に悩む農業分野の雇用確保に有効だと考える。特に機械化が難しい花き、園芸分野への配慮が必要だと考えるが。

**答** 企画振興課長「農業団体にもヒアリングを行っており、その中で、派遣方法、人数等については農林課と連携を取り、実施していきたいと考えています。」

**問** 今回就農支援制度では親元就農者への支援が認められたことが大きいですが、経営方針や役割分担、就業条件等で親子間で衝突することも考えられる。家族経営協定を進めてはどうか。

**答** 農林課長「これまで22件の実績があるが、近年は行われていないので普及課と協議し、推進していきたい。」

**問** 売り上げ規模が大きい経営体ほど、女性が経営に関与する傾向にある。農業において女性が活躍できる環境整備が必要だと考えるが。

**答** 農林課長「新年度に女性指導農業士との意見交換会等も計画しており、今後も女性の農業参画を推進していきたいと考えています。」

農福連携について

**問** 農業と福祉双方の課題解決に寄与する福祉政策であると考えているが、今後どのように推進していくのか。

**答** 町長「農福連携はとても重要な取り組みだと感じており、まずは農業と福祉のマッチングを図るため、現状の把握や分析、調査を進めて参りたいと思います。」

動画配信はこちら



# 新庁舎建設で本町一帯の経済拡大を

窪田 仁 議員



## 町長／関係者と協議を進めたいと思います

### 町長の公約について

**問** 新庁舎建設の費用対効果について伺う。

**答** 町長 新庁舎建設に伴う、現庁舎から新庁舎へ移転した時の人の流れが商店街に与える影響について、まちづくり町民会議や議員と商工会との語る会でも議論されました、商工会に及ぼす影響について「人の流れをどのように商店街に向けるか」関係者と協議を進めたいと思います。



現庁舎

**問** 硬度低減化について。水源地の地下水を汲み上げると上城の暗川の水が減るそうですが、地元説明会は、充分できているのか伺います。

**答** 町長 硬度低減化について水道課では町内5箇所ある浄水場の施設集約を行うため、令和2年から3年にかけて上城地区において2箇所の水源地を開発を行うっており、必要な水量の確保ができ、管路敷設および施設整備を進めて参ります。現在上城・下城・新城地区において湧水等の影響は見られないことから説明会は実施しておりません。

**問** 商工業の振興について。商店街に地域おこし協力隊を配置して活気のある商店街作りができる地域おこし協力隊の配置はできないか伺います。

**答** 町長 商店街や商工会からの地域おこし協力隊の要望について聞いておりませんが、配置については専門的な知識などを有することから商工会や商店街の皆さまから意見集約も必要になります。令和4年度に本町に配置するグリーン人材のように、地域活性化企業人制度の活用も考えられます。あらゆる制度の活用も視野に入れながら協議していければと思います。

### 文化・観光振興について

**問** トウール墓の国指定に向けた取組みについて。財源や進捗計画について伺う。

**答** 教育長 今年度、両町で古墓調査検討委員会を開催しトウール墓の国指定に向けたロードマップの承認を得たので令和6年度に価値づけ、評価について報告書を刊行し国指定に向けて進めていく予定で財源は、文化庁国庫補助金を活用しています。

**問** 現地視察とトウール墓の国指定に向けた取組みの研修会を要望します。

**答** 教育長 トウール墓の国指定に向けた取り組み及び本町の国・県・町の文化財に係る研修会は計画にない。

**問** 道路の整備・補修について。町道大津勘大山線は、以前から大山に抜けられる道路です。津波や介護者の避難に必要な道路でもあります。通り抜けができるように要望します。

**答** 町長 約250mの区間について、草木が生い茂り通行不能となっております。未舗装で急勾配であり危険な道路であります。避難路として

は、万一の場合大津勘海岸線、徳時吉野線の利用をお願いしたいと考えます。

**問** 町道下平川平川線は、雨の度に濁った水たまりができて大型のトラックが急ブレーキを掛けるなど危険、早急な補修整備はできないか。

**答** 町長 雨の度に水たまりができる箇所があり、令和5年度要望に向けて準備していきたいと進めている。

**問** 農業振興について。沖永良部は、農業振興が重要だ！。少子高齢化の中に、農家戸数の減少が問題となっており、後継者の確保や農業生産性の拡大が求められます。更に、就農者確保に向けたIターンUターン者の移住・定住については、どうなのか。今後どのような計画があるのか伺う。

**答** 町長 現在農林課では、IターンUターン者問わず、新規就農者育成総合対策事業を活用し、資金面の支援及び機械・施設等の導入支援を行い、就農者の経営発展のために必要なサポート等充実を図っております。IターンUターン者の移住・定住については全体的な受け入れ態勢は実施していない。

動画配信は  
こちら



# 指定緊急避難場所は

## 町長／町内では6箇所の施設を指定している

新山直樹議員



**問** トンガ沖で海底火山の大規模噴火が発生し、日本にも津波が到達しJアラートが発令されたが各避難所の開設状況及び避難された方の人数は。

**答** 町長 津波警報が出ましたが潮位変動が確認された以降の状況を勘案した結果避難指示を見送りましたが、自主的に避難された方の受け入れは知名生活館で約10名、あしびの郷で約20名の方が避難されました。

**問** 今後このような事が起きた場合に町の防災無線で避難指示等の放送はできないか。

**答** 総務課長 今後は、情報収集をし、連絡体制を構築しながら知名町地域防災計画などの見直しをしていきます。

**問** 避難所において感染防止対策に配慮して運営等はマニュアルに沿って実施できたのか。

**答** 町長 避難所に開設された施設においては入口に体温計や消毒液を設置しており、避難された方においてもマスクの着用が徹底されていたようです。施設内においても椅子のスペース確保などに配慮していたとの報告を受けております。

**問** 避難所には物資の備蓄が必要ですが、現在までの生活物資の備蓄状況は。

**答** 総務課長 エアーマット、パーテーション、AED、衝立、フリース毛布などを備蓄しております。今年度は少量ですが非常食のアルファ米や白がゆ、パン等を発注しております。

**問** 災害時には消防団員の協力が必要ですが連携は。

**答** 町長 今回は出動について指示は出していませんが、7分団においては自主的に海岸付近の警戒活動を行ったと報告がありました。今後は、このような事案にどのように対応するか、消防団に検討を依頼したところでした。

**問** 児童生徒向けの一人一台の端末を準備し、GIGAスクール構想は進んできましたが、利用状況や評価はどうか。

**答** 教育長 ロイノートは生徒児童の考えを集約するワークシートに書いたものをタブレットカメラを使い提出箱に送る。自分のタブレットで確認し、また友達のを参考に出来る。グループワークスペースは複数で同時に書くことができ、グループ活動に最適であり、協働的な学びが出来ます。キュビナは児童の回答をもとにAIが自動で次の問題を選択し、一人一人の学力の度合いに応じて最適な学びを実現出来るようになりました。

**問** 家庭と学校でオンライン授業を実施したと思えますが不具合や改善する点はなかったのか。

**答** 教育長 現地のWiFiの電波が弱く回線の遅れがあったことや、黒板ベースで実施した時に、カメラの調整が困難な点、回数をこなすことが必要な点、個別指導が困難な点がありましたが、各保守業者と連携しサポートを行い円滑な授業が実施出来るように支援に取り組んでいきます。

**問** 沖永良部2町と沖縄県今帰仁村の児童生徒によるオンラインでの交流会が行われていますが、コロナ終息後にはお互いに行き来するなど相互交流の計画はできないか。

**答** 町長 本町は今帰仁村と友好都市締結がなされたことを契機に、今帰仁村子どもジョニアリーダーとの交流会を開始し、本年12月で2回目となりました。当初はお互いの居住地を往來する計画でしたが、コロナ感染症の影響でオンラインでの交流となりました。コロナ感染症が終息した後には互いの町を往來して、交流を深めたいと考えております。

**問** 大山野営場のパンガローは修繕工事がされているが炊事棟やトイレは老朽化が目立っており再整備する予定はないのか。

**答** 町長 炊事棟は天井や柱の爆裂が発生しており、トイレはドアが破壊され利用できない状況にあります。再整備につきましては活用できる事業を検討し、財政と協議のうえ、町の皆さんが利用できるように整備を進めたいと考えております。



炊事棟

え、町の皆さんが利用できるように整備を進めたいと考えております。

**防災マップ**  
3原則  
1. 自助とは、自分自身で命を守る行動のこと。家では備え、外では避難。  
2. 共助とは、近所や地域と助け合って防災準備すること。危険は隣に伝わる。  
3. 公助とは、災害発生時に、国や自治体による防災活動や支援活動の依頼など、公的支援のこと。

**災害用伝言ダイヤル 117**  
災害発生時は、避難所や避難所近くの防災無線や防災無線の設置が困難な場合、117に電話して、災害用伝言ダイヤル(117)のサービスを受け、災害用伝言ダイヤルを利用することができます。

**避難所へ行く場合の心がけ**  
避難所へ行く場合は、避難所長や防災無線の指示に従ってください。また、避難所では、他の避難者の方と協力して、避難所を安全に利用してください。



動画配信は  
こちら



# デジタル化に向けて今後の取り組みは

川畑光男 議員



## 町長／マイナンバーカードの交付率は現在40.63% で本年度の目標を45%に設定

**問** 本町のマイナンバーカードの取得交付率は、令和4年1月現在39.3%ですが、今後の取得、交付に向けた計画はどのようになっているか。

令和4年度からデジタル化に向けた自治体の標準化システムの導入について今後の計画はどのようになっているか。また、町民への説明はどのように考えているか。

**答** 町長 Ⅱ マイナンバーカードの交付率は2月20日現在40.63%となっております。本年度の交付率の目標を45%に設定し目標を達成すべく取り組みを行っているところですが、具体的な取り組みについては、窓口での届け出や証明書発行に際して、本人確認資料として最初に、マイナンバーカードを確認するようにしています。マイナンバーカードを確認されることにより「マイナンバーカードが必要」との認識を持っていただけるのではないかと期待しているところです。

また口伝に「役場の窓口でマイナンバーカードを確認された」とと拡散していければ、来庁者以外の町民の方々についても「マイナンバーカードが必要である」との認識をもっていただけるのではないかと、その波及効果にも期待しているところですが。

**問** 国としても令和4年度末までには、国民のほとんどが所有することを旨とし、マイナポイント事業の第2弾の実施を開始しております。

**問** 徳洲会病院から、フロラールホーム花の家の間は、下水道工事、舗装の老朽化により、道路の状態が非常に悪く交通量も多く、バイクなどの転倒にもつながるので整備はできないか。

**答** 町長 Ⅱ 町道知名瀬利覚線は昭和56年度に町道認定を行っており、舗装完了後に下水道等の敷設や、経年劣化により路面状況が悪化しております。交通量も比較的早く早急な路面状況改善の必要があるため、一部舗装区間のやり替え等を検討していきます。



**問** 松尾歯科から認定子ども園すまいるへの道路において一部道路が狭く、ガードレールやフェンス等があり、車両の離合が非常に困難なため改良工事はできないか。

**答** 町長 Ⅱ 黒貫大堂線は、ご指摘の区間において離合が難しい状況であり、近くに離合できる場所があること、又、交通量が少ないことを考慮すると、現時点での道路改良の優先度は低いと考えています。



**問** 商店街の空き店舗の利用方法、活用についてのどのようになっているか。

**答** 町長 Ⅱ 商店街の空き店舗につきましては、売り上げの減少や高齢化に伴う後継者問題等により、廃業した事業所も直近2年間に14事業所あり空き店舗の増加の原因となっております。商工会の会員は直近2年間で19事業所が新たに商工会に加入があり、空き店舗の活用方法につきましては、

改装費用や新規で創業される方々への支援策としては、「商店街にぎわい創出支援事業」が、令和4年3月の県議会会で補正予算成立の予定ですが、事業内容といたしましては、空き店舗を活用した子供

たちが遊べるコミュニティスペースの整備や、新たに創業される方の掘り起こしに向けてのチャレンジショップ等の活用ができる補助事業で、事業を活用しつつ商工会の皆さんと空き店舗の活用方法の協議をできればと思います。



空き店舗の活用対策を

**問** 町での今後の航空券の購入はどのようになっているか。

**答** 町長 Ⅱ 航空券の取り扱いについては、森運送店船客航空部が行っていました。航空券をインターネットで予約・購入される方が増加したため、店舗利用者が少なく、採算が取れないことから経営を維持していく事が難しく、令和3年末で店舗での取り扱いを終了し、今後の航空券の購入については、インターネット購入か、和泊町での購入となる。

宗村 勝議員



# 本町の脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現は

## 町長／自然エネルギーの活用を

動画配信はこちら



問 ③太陽光発電の新庁舎への導入計画は。



小水力発電装置

問 町長 小水力発電について可能性は十分にあると考えます。大山からの水道水の落差を活用した小水力発電の導入についても検討中でありま

問 ②小水力発電やマイクロ水力発電の可能性は。

答 町長 将来的に風力発電の利用は可能です。沖永良部の年間平均風速を確認すると、平均風速5・66m/sであり風力発電に適した土地であり風力発電を町内で約1・9MW分導入することを掲げております。

問 本町は脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）実現に向けて取り組んでいますが再生可能エネルギーの普及をどのように計画するのか。  
①風力発電を利用する取り組みの実証試験等を行っているが将来の展望は。

問 町長 電柱及び電線の移転・地下埋設については、費用対効果の面から早期の実施は困難であると考えますが、引き続き国立公園の保護・景観については、対応を協議しながら万全を期して参ります。



田皆岬の景観対策を

問 田皆岬の景観について。田皆岬の園地整備がされ素晴らしい施設になりましたが駐車場横の展望所から岬の方角を望むと電柱や電線が張られており景観を損ねていると感じられます。送電線の迂回や地下埋設等への改修をして自然眺望が映える様にすべきでは。

答 町長 太陽光発電を屋上に設置するとともに蓄電池を導入する計画です。太陽光発電で52・5KWを発電し通常時は庁舎の電源として活用し、非常時には蓄電した電力を利用する計画です。

問 町長 各字公民館に設置しているAEDについては消防分団を通じて各字へ配布し、各字及び消防分団に管理をお願いしております。使用方法等の講習につきましては、消防分団員を講師として各字に行っていたらと考えられております。AEDの講習を含め災害訓練を各字で行うことで地域一人ひとりが「自

問 AED（自動体外式除細動器）の適正な管理について。各字の公民館や主要施設にAEDが配置されていますが、保守管理や使用方法等の講習がされていないと感じられます。町民に使用方法等の講習や広報等で周知徹底すべきではないか。

答 町長 餌やりに関しては随時指導しております。今後は、年一回の防災無線による広報だけでなく、チラシ配布や広報ちな等も活用し、定期的な啓発に努めてまいります。

問 猫の適正飼養について。近年野猫や野良猫が増えて迷惑になっていると聞かされていきます。飼猫に対する届出制や不妊治療の推進、野良猫等への餌やりの禁止等の徹底した啓発をすべきではないか。

問 町長 プロスポーツ、企業や大学のスポーツ合宿を誘致するには、屋内運動場や全天候型の運動場と安価で宿泊できる宿泊施設が必要であります。庁舎建設や大型事業を進めているなかで財源を考え並行して進める事は困難なことだと思っております。当面はフロアールホテルを活用しながらスポーツ大会などの誘致を進め

問 今井町長の一期四年間を振り返り、二期目に至っている現在、あらゆる事に積極的に取り組んでおりますが、就任前に訴えていたスポーツ団体等の合宿やキャンプ等の誘致を積極的に取り組むと明言しておりましたがその成果が感じられません、合宿やキャンプを誘致する事により交流人口の増大や町の活性化に繋がると思っています。今後どのようなお考えなのか伺う。



AEDの適正管理を

頃から災害に備えることが出来るかと考えております。

## 令和4年度当初予算審査特別委員会

本町財政は、財政力を示す各財政数値は、改善してきているものの、他市町村と比較すると依然として厳しい財政数値、財政状況となっています。このような中、子育て環境、教育環境の更なる充実を図るための経費や高齢化の進行等による扶助費等は、引き続き増加しています。

また、近年、町立小中学校の屋内運動場の新增改築や町営住宅、認定こども園、給食センター等の大型の普通建設事業を実施し、本年度は新庁舎建設を行うことから町債残高は令和4年度末で一般会計79億109万5千円、特別会計17億700万7千円を見込んでおり、依然として高い水準で推移しています。

今後も少子高齢化・社会保障費増加への対応、教育関係の充実、生活基盤・地域社会の維持など、必要不可欠な事柄への取り組みと新庁舎建設等公共施設の整備更新、長寿命化等の維持管理の的確な実施を求められるため、非常に厳しい財政運営、管理が求められます。

このような状況を踏まえ、令和4年度当初予算編成に当たっては、令和元年度に作成された第6次知名町総合振興計画に基づき、目標を明確にした上で、事務事業の効率化や見直しを図りながら、成果をより一層重視、意識した事業の予算編成となりました。

令和4年度当初予算審査に当たっては、「予算審査特別委員会」を設置して審査を行いました。委員長根釜昭一郎、副委員長長新山直樹のもとで慎重な審議が行われ、委員長報告のとおり原案可決されました。

### 令和4年 第1回知名町議会定例会議決結果

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第3号	令和3年度知名町一般会計補正予算(第7号)について	原案可決
議案第4号	令和3年度知名町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第5号	令和3年度知名町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第6号	令和3年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第7号	令和3年度知名町奨学資金特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第8号	令和3年度知名町下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第9号	令和3年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第10号	令和3年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第11号	令和3年度知名町水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第12号	知名町道路線の認定について	原案可決
議案第13号	訴えの提起について(町有地所有権移転登記)	原案可決
議案第14号	知名町長等の給与に関する条例及び知名町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	知名町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第16号	知名町消防団条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第17号	知名町債権管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第18号	知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第19号	知名町フローラルパークの指定管理者の指定について	原案可決
議案第20号	知名町自然休養村管理センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第21号	知名町体育施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第22号	令和4年度知名町一般会計当初予算について	原案可決
議案第23号	令和4年度知名町国民健康保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第24号	令和4年度知名町介護保険特別会計当初予算について	原案可決
議案第25号	令和4年度知名町後期高齢者医療特別会計当初予算について	原案可決
議案第26号	令和4年度知名町奨学資金特別会計当初予算について	原案可決
議案第27号	令和4年度知名町下水道事業特別会計当初予算について	原案可決
議案第28号	令和4年度知名町農業集落排水事業特別会計当初予算について	原案可決
議案第29号	令和4年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計当初予算について	原案可決
議案第30号	令和4年度知名町土地改良事業換地清算特別会計当初予算について	原案可決
議案第31号	令和4年度知名町水道事業会計当初予算について	原案可決
議案第32号	訴えの提起について(町有地所有権移転登記)	可 決
議案第33号	訴えの提起について(町有地所有権移転登記)	可 決
議案第34号	訴えの提起について(町有地所有権移転登記)	可 決
議案第35号	知名町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議案第36号	知名辺地総合整備計画の変更について	原案可決
同意第2号	知名町教育委員会教育委員の任命に付き同意を求めることについて	同 意
発議第1号	知名町長の専決処分事項の指定について	原案可決
発議第2号	ロシア連邦によるウクライナ共和国への侵攻に断固抗議する決議意見書	原案可決
発議第3号	議員派遣について	決 定
決定第1号	閉会中の継続審査の件について	決 定
決定第2号	閉会中の継続調査の件について	決 定

## 12月

- 15日・第4回定例会
- 16日・第4回定例会
- 21日・沖永良部バス企業団議会第3回定例会
- 沖永良部与論地区広域事務組合議会第2回定例会

## 1月

- 2日・町内一周駅伝競走大会
- ・金刀比羅宮新春祭
- ・成人式
- 6日・消防出初式
- 12日・例月監査
- 13日・特定地域づくり事業協同組合シンポジウム
- 14日・特定地域づくり事業協同組合シンポジウム(視察研修)
- 18日・令和4年第1回臨時会
- 24日・商工会青年部・女性部と語る会
- 25日・研修会「地域づくりカフェ」第4回
- 28日・第1回沖永良部クリーンセンター施設整備方針等検討委員会

## 2月

- 1日・議員研修会(中止)
- 3日・産業フェア第2回実行委員会
- 5日・県民と県議会との意見交換会「あなたのそばで県議会」(延期)
- 6日・ばれいしよ出発式及び出荷会議

## 2月

- 10日・例月監査
- 13日・知名の子表彰及び島唄・島ムニ大会
- 15日・町村議会議長会定期総会(中止)
- ・離島振興町村議会議長会定期総会(中止)

## 3月

- 16日・市町村長・議会議長合同会(中止)
- ・市町村議会議長会
- ・奄美群島広域事務組合議会定例会
- ・町村監査委員協議会定期総会・研修会(中止)
- 18日・備品監査
- ・第2回知名町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会
- ・地域女性団体連絡協議会と語る会
- 21日・上下水道運営委員会
- ・第14回感染症危機管理沖永良部現地対策協議会
- 22日・令和4年度知名町奨学生推薦会
- ・国保運営協議会
- 1日・沖永良部高校卒業式(出席自粛)
- 2日・議会運営委員会
- ・議会全員協議会
- ・提案議案説明会
- 4日・第1回知名町子ども・子育て会議(書面決議)
- 8日・令和4年第1回定例会

※報告事項の括弧書きは、新型コロナウイルスの影響による。

### ご意見募集について

議会広報委員会では、より充実した広報誌作成のため、議会だよりに対するご意見・ご感想を募集しています。

町民の皆様の様々なご意見をお寄せください。

TEL:0997-93-3119 Mail:china09@town.china.lg.jp

### 編集後記

議会運営の推進につきましては、格段のご理解・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響が終息しない中、更には燃料の価格高騰と経済的な懸案事項が多岐に及んでいます。そんな厳しい状況のもとで、本町の農業生産額は、悪天候続きで効率の悪さは有りましたが、さとうきびの豊作に、ばれいしよや畜産・花卉の高値取引等により農家経営は良い状況が続

いています。

また、「議会だより」について、「町民の意見を募集する。」コーナーを設けて全議員が共有し、より充実した広報誌を目指して参ります。

結びになります。今後とも御指導と御鞭撻を賜りますとともに町民の皆様の御多幸と御健勝を祈念致します。

がんばろう!! 知名町!!

議会広報委員 窪田 仁